

武石地域協議会会議録

日時 平成 18年 1月 12日(木)午後7時から午後9時10分

場所 武石地域自治センター2階会議室

出席委員 新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤静子委員、伊藤隆子委員、内田安博委員、柿蔭祐子委員、清住章雄委員、清住隆幸委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、桜井美枝委員、高田忍委員、滝沢幸彦委員、橋詰真由美委員、松代典之委員、依田せつ子委員

欠席委員 北沢直美委員、滝沢潔委員、竹内新蔵委員、松井幸夫委員

市側出席者 広川武石地域自治センター次長、児玉地域政策担当係長、掛川庄事

1 開会

(児玉係長)

ただ今から第4回武石地域協議会を開催させていただきます。

2 桜井会長あいさつ

(桜井会長)

前回まではフリートークのような形でご意見をいただきました。前回申し上げてありますように、今回と25日で結論を出すことになっていきますので、ご協力をいただきたいと思います。これから担当から説明がありますが、前回全般にわたって皆さんからご意見いただいたものを踏まえて、事務局原案を作りました。諮問された5項目の基本構想に関して、全体の構想としていいのかどうかということです。具体的な問題ではなくて基本的な構想について、私たちが普段考えていることや重要なことが文面に網羅されているかご協議いただきたいと思います。それぞれの分野にわたって新たに作ってありますので、ご協議をお願いしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

3 センター次長あいさつ

(広川センター次長)

ただいま桜井会長からお話いただいたとおりですが、先日皆さんからいただいたご意見を事務局で集約いたしまして、そこに担当課長等の意見も聞きまして、たたき台として案を作らせていただきました。見ていただく中でご意見や訂正箇所、付け加える箇所がありましたらお出しただいて25日の会議では答申書として最終的にまとめたいと思います。短い期間の間にご無理を申し上げて大変申し訳ありませんが、よろしくご協議をお願いしたいと思います。

4 協議事項

(1) 総合計画「武石地域まちづくり方針」についての協議

(桜井会長)

それでは、事務局から説明をお願いします。

(児玉係長)

武石地域まちづくり方針「計画シート」第3回地域協議会意見集約案の資料に基づき説明

(桜井会長)

ただいま事務局から説明をいただきました。ご協議いただく前に確認として申し上げますが、最初に諮問した計画シートについては、新生上田市建設計画に掲載されており、知事の承認を受けて決定しているものです。現実の問題はこれから上田市の中の武石地域がどういう方向でいくのか、今回諮問されたこの内容がもとになりますのでご了解いただきたいと思います。それから、諮問された計画シートでは、項目は5つで、文章的にも非常に簡単なものですが、集約案ではかなりのボリュームになっています。上田市全体のバランスとして諮問された元の計画シートと同程度に制約されるのかという懸念がありましたが、今の段階ではボリュームが大きくなっても認めていただけるようです。ただ、あくまでも私たちの役割は諮問に対する答申ですので、私たちが出した答申に対して、上田市全体のボリュームやバランスもあるので、内容を統一したり、若干変更したりすることは絶対ないとは言えないので、ご了解いただきたいと思います。

本日から、文章の内容、全体の考え方についてのご協議をいただきたいと思います。それでは、個々の問題について入っていききたいと思います。

最初に、「地域特性」と「発展の方向」と6項目の分類方法についてのご意見がありましたらお願いします。

意見なし

(桜井会長)

特にないようですので、また後で何かありましたらお出しいただきたいと思います。

続いて、「住みよい地域づくりの推進と地域情報化の展開」についてご意見がありましたお願いします。

(委員)

CATVケーブルを利用した告知放送システムについてですが、武石にオフトークを導入したときに、個人から負担をもらって行政の告知をするということは問題だということから、オフトークの回線使用料は今まで行政が出してきました。今度何年かすると、これが個人負担になってくるということですが、今度丸子TVのケーブルを使って告知放送をしていくということは、今丸子TVに加入していない人に負担を出してもらうことになるかと思います。武石の65歳以上の方たちの半数が3～5万円の年金で暮らしているという実態を考えたときに、果たして負担をしてもらえるのかという問題があるわけです。以前に告知放送を無線で行っているところへ視察に行きました。そこでは携帯ラジオを買っていただければ告知放送が聞けるそうです。山間のところなのでケーブルを張るのは非常に大変だということで、無線で告知放送をしているところもあるわけです。住民にとってどのような告知放送の運営がいいのかを考えていかないと、弱者保護の問題が解決できないかと思います。全村にコンピューターを導入した新潟県の山田村へ以前視察に行きましたが、導入に至るまでは非常に大変だったということです。山田村の情報ネットは愛知大学の生徒さんが毎月ボランティアで入っているということです。いろいろ計画を立てるときに計画倒れにならないように、そのの先にあるものをしっかり頭に入れておかないと絵に描いた餅になってしまいます。情報化社会に対応した新たなシステムを導入するのもいいですが、どこまでそういうことをするのかということも頭に入れていただければありがたいと思います。

(桜井会長)

ただいまの件について、他に何かありますか。

(委員)

私は告知放送を一本化するということに反対なのですが、保育園の保護者会で集まったときにオフトークに入っている方をお聞きしたら6名中2名だけでした。世代によって情報の受け取り方が違うということもあると思いますので、いくつかの選択肢の中から選べるようになっていた方が親切かなと思います。今最善だと思っても数年後には変わるかもしれませんし、今ひとつに決めてしまうというのはどうかなと思います。

(委員)

これから8年間はこの方針の下に計画が行われるということですが、ときどき見直しもあるのでしょうか。

(広川センター次長)

基本構想における武石地域の方針でありまして、実際には3年ごとに実施計画を立て、毎年度ローリングによる見直しを行うことになっています。実施計画というのが実際にやる事業になります。この基本構想に書かれていないことは何もできないということではなく、武石地域全体の将来的なことの基本になるものですので、あまりこの課題にとらわれなくてけっこうです。例えばオフトークに変わるものは丸子TVだと言っているわけではありません。丸子TVのケーブルが全域に行き渡っていますし、丸子TV以外の方法ですと莫大な費用がかかるという面もありますので、相対的なことを考えると丸子TVも普及していますのでいい方法かと思っています。ですから、そこに載っているもの以外は何もできないという類のものではないということは認識していただいていいかと思います。

(桜井会長)

先ほど申し上げましたとおり、8年間の構想ということですから、今のよう形になるということです。例えば、オフトークの問題など新たな事業をやるとすれば、予算や実施計画の中で協議されていくと思います。

(委員)

まちづくり方針についてはこのとおりでいいと思いますが、課題はまちづくり方針の具体化の問題なので、課題がないとまちづくり方針だけではよく内容がわからず、あまりにも抽象的過ぎてしまうので、できるだけ課題も盛り込んでいただきたいと思います。

また、文化施設等の問題で、上本入にも一心様等いろいろありますが、そういうものが過疎化が進み維持していくのが難しくなっているのが現状です。神社や仏閣などもそうなのですが、過疎化が進むとなかなか地域の人たちで負担をして修理や維持保全していくというのが難しいと思います。それが宗教施設や宗教行事とダブっているということで、そういうものに対して市では補修や補助はできないということなのですが、例えば善光寺も宗教施設ですが、観光施設であり街のシンボルにもなっているわけです。宗教施設や宗教行事というものにあまりとらわれずに御柱も含めてできるだけ市として将来に渡って維持、助成していくという方向を出していただければありがたいと思います。

それと、高校生の通学が非常に大変だと思うのですが、保護者からそういう声がなかなか出てきません。多少の補助金をもらえればそれでいいのかと、それがとても問題だと思うのですが、

もう少し上田へ通っている皆さんの保護者からスクールバス等で行ける方法を考えてほしいといった意見が出てこないのかなと不思議に思います。高校生の保護者の方の意見を聞かないとわからないのですが、私はそれが道路交通網の関係で渋滞の解決にもつながるのではないかと考えています。

(桜井会長)

その他にご意見ありましたら、お願いします。

ないようですので、次に進めます。ただいまの問題について何かありましたら、あとでも結構ですでお出しいただきたいと思います。

それでは次に「 道路交通網の整備」についてご意見をお願いします。先ほど説明がありましたように、本来武石地域に関わることにに関して書くのが前提なのですが、武石を通っていない道路も非常に通勤通学等に関わりがありますので項目を作りました。

(委員)

トンネルの開発などの具体的な希望は載せることはできないのですか。

(児玉係長)

先ほどもお話ししましたように、総合計画の基本構想の段階ですので具体的内容を元には書いていません。さまざまな願いも込めてあるということです。具体的な事業をやるための文章ではありませんのでご了解いただきたいと思います。

(委員)

依田川左岸道路の小屋坂トンネルまでの整備についてもぜひ載せていただきたいと思います。

(児玉係長)

全部の路線を書いていくと膨大になってしまいますので、「など」という言葉にしてあります。武石地域から上田市街に行くために丸子周りと塩田周りがありますが、アンケートの中では通勤通学の便が悪いことと勤務場所が少ないことが上位です。武石地域では工場誘致も違う地域の状況をみると非常に難しいと思います。そこで武石地域は通勤通学に利便があるということを課題としてあげていかなければいけないので、道路交通網の整備についてあげさせていただきました。代表的なものとして国道152号線と平井寺トンネルはいろいろ論議がありますし、トンネルという発想もあるでしょうし、さまざまな願いを込めて武石の皆さんが市内やその周辺へ1分でも早く行かれるような交通網の整備をしたいというのがこの項目をあげました。

(委員)

課題と地域協議会意見が答申に載るとしたら、ぜひ依田川左岸道路の整備も載せていただきたいと思います。

(委員)

一道路だけで考えるのではなく、もっと大きな考えで動いていかなければいけないと思います。

(委員)

私もそう思います。あらゆることを全て載せ始めたらここには書ききれなくなってしまいます。例えば今は道路のことで話をしていますが、その他の項目についても全て拾い上げていったらあれもこれもなくなってしまってとても書ききれません。ここで言っている課題というのは、この文章についての具体的な内容ではなくて、何が必要なのか、何が足りないのかという課題だと思います。具体的な内容には予算的なこともありますし、本来であれば細かい課題というのは書かな

くてもいいのではないかと思います。予算付けをするときに論議すべきことであって、今回のまちづくり方針についてはこの文章がよいか悪いかということを検討していった方がいいかと思います。

（桜井会長）

地域課題を出してもらうのは次の問題ですので、この文章の中に武石地域の課題が掲げられているかどうかを基本に考えていただければと思います。個人的な見解で申し訳ありませんが、道路の問題でも国道や県道、地方道だけにして具体的な路線名はいらないのかなと思います。具体的にあげてしまうとあれもこれもとなってしまうので、総体的な方向でいいのではないかと思います。

それから事務局にお聞きしますが、具体的な課題と地域協議会意見というのは答申書に載るのでしょうか。

（広川センター次長）

担当係長との話では、各地域協議会のまちづくり方針を対比するときにどんな原因のものがあっているのかわかりやすくするために課題も出しておいた方がいいのではないかと思います。ですが、主管課長会議においては、それほど細かいものまでいれてしまうと実施計画と同じになってしまうので出さないということになっています。

（委員）

道路交通網の整備だけは、ある程度具体的にあげておいていただいた方がいいのではないかと思います。

（桜井会長）

それでは次に「魅力ある農林業の創出と商工業の振興」についてご意見をお願いします。

（委員）

私の希望になりますが、農村風景を守っていくために景観の美化について触れてみてはどうかと思います。またこの地区は農業が盛んな地域で自然環境が非常に農業に適していると思われるので、地域の農産物を中心とした特産品、ブランド品の開発ということも入れてみたらいいのではないかと思います。それが観光や地域内の意欲にもつながるのではないかと思います。

（委員）

森林の保全のところ、「松くい虫の防除に努め」と載っていますが、空中散布をすると言っているように聞こえるので、それは森林の保全に含めてしまった方がいいのではないかと思います。

（桜井会長）

先ほどの地域の特産品という意見につきましては、地域分野の特色という意味では非常に重要なことだと思いますが、それを加えるということについてどうでしょうか。

（委員）

これからこの地域を活性化するという意味ではとても重要ですが、文中の「地域の特性に合わせた活力ある農林業の創出」に含まれるのではないかと思います。どうでしょうか。

（桜井会長）

具体的な内容が出ている部分と抽象的な部分がありますが、私は具体的に載せた方がいいといった内容のものは載せてもいいのではないかと思います。

（委員）

最初から具体的に載せてしまわないほうがいいと思います。まちづくり方針には地域の夢を書いておく方がいいと思います。

(委員)

細かく入れ始めればきりがありませんし、私も希望はありますが、「地域の特性に合わせた活力ある農林業の創出」という文章でいいと思います。

(桜井会長)

それでは、農業の関係につきましてはこのままということによろしいですね。

では次に「都市・農村交流と広域的な観光の展開」についてご意見をお願いします。

意見なし

それではもしご意見がありましたら、あとでお願いしたいと思います。

次に「地域社会に根ざした医療・保健・福祉・介護の充実」についてご意見をお願いします。

意見なし

(児玉係長)

なかなか発言がしづらいようですので、方針の作り方について少し説明いたします。

まず課題と皆さんにお出しいただいた意見を羅列し、共通事項を拾っていきます。それに含まれる文章を地域まちづくり方針へ入れこんでいくという作り方をしています。課題は上田市全体の中で武石地域がやっている特長的なことを拾っています。それが載っていないと、例えば農業で武石地域の特長的なことという現状で浮かぶのは受託組織で、それは上田市の中でも非常に珍しいと言われていています。先ほど削除になりました松くい虫の防除も上田市の中では武石地域は先進地と言われていています。そういった特長的なものを載せていかないと、逆に言えば上田市全体の構想にあるではないかという発想になってしまうわけです。この文章に出てきているのは、武石地域に特化したことをなるべく具体的に載せながら、しかもこれは上田市の政策になってきますので、ここに具体的に書いてあることはやらないと市長の責任になるわけです。そういうことになりますので、具体的には非常に書きづらく載せるのが難しいわけですが、上田市の中で武石地域でやっている特長的なことを載せてバランスを取りながら文章をつくる必要があります。

(桜井会長)

ただいま説明をいただきましたが、前回のフリートークでそれぞれの分野で意見を出していただきました。その意見が表になっています。そういう皆さん方の思いの基本的なものはこの文章に表れているかと思います。そういう観点で見ていただきたいと思います。

(委員)

依田窪病院の支援については上田市の構想に入っているかと思いますが、それよりも武石診療所の機能を充実させることをもっと強く書いた方がいいのではないかと思います。

(児玉係長)

新市建設計画の諮問シートの中に「一次医療を担う武石診療所と、二次医療及び救急医療を担う依田窪病院を引き続き支え、効果的に活用していく」とあります。ここに具体的な病院名が載ってしまっているので、この建設計画を後退させるわけにはいきませんし、逆に上田市全体の構想には入っていないので、武石の基本構想に載せてあるわけですから、これを削ってしまうというのは難しいというのが現状です。

(桜井会長)

建設計画は合併協議会で決まったものですので、その縛りもありなかなか難しいですが、ご意見としていろいろお出しいただきたいと思います。

診療所と依田窪病院の関係の文章については、このままでよろしいでしょうか。

それでは次に「教育、子育て支援施設の整備」についてご意見をお願いします。

(委員)

「児童館を中心とした子育て支援の拠点施設の整備」と書いてありますが、学童クラブピーターパンも児童館への併設を希望していますので、それをどこかに加えていただきたいと思います。それと「児童館を中心とした子育て」よりも「児童館を設置し、子どもを中心とした」という表現にしていきたいと思います。

(委員)

他の項目でも具体的な名称は入っていませんし、「学童クラブピーターパン」というのは固有名詞なので入れない方がいいのではないかと思います。入れるとしたら「学童クラブ」だけでいいと思います。

(委員)

児童館や学童保育という名前を出すのではなくて、「放課後児童対策」として全てを含めてしまえばいいのではないかと思います。放課後児童対策としての拠点施設を作り上げていくという形でもっていけば、その中に児童館を含まれるでしょうし、学童保育も併設を考えているようですし、全部含められると思います。

(児玉係長)

そこに図書館があったり、若い母親の交流の場があったり、あらゆる願いを含めた拠点施設ということになれば、放課後児童対策という言葉でひとくくりにできれば、文章もすっきりすると思います。

(委員)

その中に含まれるかもしれませんが、「すみよい地域づくりの推進と地域情報化の展開」の課題と地域協議会の意見の中に「未就学児の遊び場」がありますが、これも子育て支援の中に入れていいかなと思います。以前は各地区にも子どもたちが遊べるような場所がありました。今はなくなってしまっていますので、そういうものも必要ではないかと思います。

(広川センター次長)

放課後児童対策だと学校へ行っている児童だけになってしまうので、「放課後児童対策」と平行して「子育て支援」という言葉も入れておけば、未就学児童のことも含まれてくると思います。

(児玉係長)

なぜとに分けたかという、JA跡地に整備する子育て支援の拠点施設と小学校の体育館は、武石地域の8年間の長期計画の中では非常にウェートの高い事業になってきますので、ここに教育のいろいろなものを入れてしまうとそれが薄まってしまいますので、あえてその2つに特化して項目を作ったわけです。しかし、子育て支援については大事な課題でありますし、今委員さんが言われた各地域へ児童のための遊び場を作るということは、の文中の「あらゆる年代の市民が住みよいと感じる地域づくりを進めるために」というところに願いを込めていますので、ご了解いただきたいと思います。

(桜井会長)

児童館を中心にどういうものにしていくかということに対して課題があるわけです。どういう体制で、どういう拠点を作って、どういう運営をして、何を加えていくということはまた別に協議をしていただくこととなりますので、ここには総体的な方向性があればいいということになります。ただ心配なのは先ほど委員さんから出ましたが、児童館というものに対して大きな枠では上田市のいろいろな審議機関でスタイルを作ってきていますが、地域協議会に対してどのような形で問われるのか私にもわかりません。できれば、素案に近い段階で協議会の意見を聞くように課題をあげてもらえれば、皆さんの意見を十分に聞くことができるかと思います。事務局から話があったように、児童館についてはこの地域の具体的な内容では最大の問題だと思っておりますので、ぜひ協議する機会を設けてほしいと思います。

他にありませんでしょうか。

(委員)

付帯事項の項目の中に具体的なものもあるのですが、このまま出すということですか。

(児玉係長)

付帯事項をどのくらいのボリュームで出せるのか、他の地域からどの程度出てくるのかもまだ分かりませんが、武石地域協議会としてこれらの意見は大事なものとして付帯事項であげていくことはできると思います。どこまで出すのかは皆さんにもう一度お謀りすることになるかと思えます。

(広川センター次長)

いずれにしてもまちづくり方針の答申は計画シートの様式で答申することになっていますが、付帯事項についてはどういうスタイルで出すのかまだ決まっていないので、文章で具体的にするのか詰めていきたいと思えます。

(委員)

産科の充実については非常に大事なもので、どこの項目へ入れていいのかわかりませんが武石の方針の中に入れてもいいのではないかと思います。

(児玉係長)

具体的にはどのように触れたらいいのでしょうか。例えば依田窪病院へ産科をつくるとかでしょうか。

(委員)

産科については広域的な問題でもあると思えますので、どこかで触れてもいいのかなと思ったのですが。

(桜井会長)

今の産科の問題につきましては、25日には最終的に結論を出したいと思えます。事務局の方で今日出たいろいろな意見やそれぞれの関係する皆さんともお話いただいて、精査していただき最終案をお示しいただければと思えます。

それでは閉会を副会長からお願いしたいと思います。

(小山副会長)

お疲れのところ皆さんに貴重なご意見をいただきありがとうございました。以上で第4回武石地域協議会を閉会いたします。本日は大変お疲れさまでした。